

稚大高第784号

2018年11月15日

帯广大谷高等学校

校長 大西 正宏 様

稚内大谷高等学校

校長 山 下 優

### 北海道大谷学園連合会相互評価（自主）報告書

向寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび北海道大谷学園連合会相互評価訪問調査が終了いたしましたので、次の通りご報告いたします。

#### 記

1. 評価対象校 帯广大谷高等学校
2. 調査日 2018年11月6日（火） 9：00～11：30
3. 会場 帯广大谷高等学校
4. 出席者 帯広：小野教頭  
稚内：越後屋教頭・田中教諭
5. 評価報告 以下に記載

#### 評価結果

##### [建学の精神・教育理念・教育目標・学校目標について]

帯广大谷高等学校は親鸞聖人の本願念仏の教えをよりどころとし、大いなる「いのち」に目覚め、人間として生きる喜びを見出すことを願いとされており、あらゆる教育活動において「いのちの尊さ」「平和の大切さ」を根底にし、教育現場でそれが具現化されている。

学校行事・儀式・日常の教育活動が、「建学の精神」「教育理念」に基づくものと位置付けられ、幅広く展開されている。また、全校集会では建学の精神に触れた校長講話がなされ、そのことは、生徒の情操教育に反映されるものであり人間教育の根幹をなすものである。教職員対象の宗教教育研修は、建学の精神への理解を深めるものであり、教職員一人一人が大谷の教育の原点として生かされるよう、努力されている。

## 分掌

### 〔教育課程・学習指導（教務）〕

学習指導委員会が主体となりシラバス作成を協議し、年度当初に作成している。実行の確認は各教科で行い、総括会議で確認していることから、今後さらなる内容の充実が期待できる。

定期考査において成果を発揮できなかった生徒に対して、組織的な取り組みが行われている。また、成績を家庭へ送付し現状報告を行い、保護者からも要望等を記入してもらっていることで家庭との連携がより密になり、より効果的な学習力の向上に繋がることと期待する。

キャリア教育の一環として多様な資格取得機会が設けられており、課外講座および授業等での取組は評価できる。今後より出口教育に特化した実の上がる資格取得を目指すことも期待したい。

### 〔生徒指導・部活動（生徒指導・生徒会）〕

生徒指導の大きなテーマとして「気付かせる」ことを掲げ、きめ細やかな生徒指導が計画的に実施されている。教職員が崩れば生徒も崩れるという理念も評価でき、教職員が主導となった生徒指導が行われている。また、家庭との連携は、学級通信、学年通信等で生徒の様子を伝え、必要に応じて電話連絡、家庭訪問、面談を行い、改善を図っている。

問題行動の未然防止については、建学の精神でもあるいのちの尊さを常に重んじることで、いじめや自殺などの抑制につなげており、他者を尊重する精神を植え付け、健やかな学校生活を送れるよう努めている。

### 〔進路指導〕

教育計画、年間業務計画に従い、緻密な進路指導が行われている。進路への関心を高める取組を実施され、大学見学等で早い段階からより明確な進路選択できるような行事を実施しているところが評価できる。また、生徒が受験した内容報告をデータベース化し、スムーズに情報提供できるように改善され、生徒を多角的に指導できるよう工夫されている。

今後、受験方法の多様化や試験対策、進路のミスマッチ、学力の育成等が挙げられているが、早期からの取組や具体的な進路選択につながる資料づくり等が進められ、また分析や対策を立てることでより生徒のニーズに合った進路指導が実現されることに期待する。

### 〔保健管理・安全管理・個人情報管理〕

生徒の健康・安全の向上に資する明確な危機管理マニュアルが適切に示されており、また通常の美化・清掃活動の他に年に数回、生徒による校舎外の清掃が行われていることは大いに評価できる。個人情報管理表を作成するよう内部監査から指摘を受け教職員に周知されており、より厳戒な管理がされている。

## 〔入試・生徒募集〕

教育体制推進委員会が「中長期展望に立った特色ある教育を目指す教育改革案の作成」と「対外的広報活動全般の企画・実施」を行っており、今後の十勝管内の現状を視野に入れ、学校の将来展望を検討していることが評価できる。

各広報及び生徒募集活動については、10月に十勝管内の私学四校合同説明会、年4回の全中学校への訪問で広報活動を行っている。中学校訪問、中学校が主催する進路学習会への参加、学校見学会、部活動体験入部等を通じて教育活動を発信している。幼・高・短大の教育連携ができる十勝唯一の総合学園としてのメリットを見出し、幅広く広めて頂きたい。

## 〔特別支援教育〕

特別支援コーディネーターを中心に教職員全員が状況を把握できる体制づくりをしている。今後、研修会への参加や支援体制の充実を目指し、特別支援教育に対する教職員の意識改革を進められることを期待したい。

## 改革・改善

帯広大谷高等学校学校評価規定に基づき、教育理念の実現及び目的達成のために、校長を中心とした学校評価委員会を実施している。

教育体制推進委員会を中心に学校改革行っており、現在まで十勝管内の私立高校で最も高い志願者数と学力レベルを維持していることが評価できる。

今後も教育内容の充実に向け、道内外の高校と大学の視察を行い、進学実績の向上に繋がる新たな取り組みに期待したい。

以 上